

令和5年度第3回安城市総合計画審議会議事（要旨）

日 時	令和5年11月17日（金）午後14時00分～15時30分	
場 所	市役所本庁舎 第10会議室	
出席者	委員	寺田 覚会長、太田 良子副会長 佐野 真紀委員、安田 孝美委員、久恒 美香委員、渥美 純一委員、筒井 広治委員、都築 豊彦委員、鳥居 卓司委員、宮下 晴美委員、河田 光司委員、酒井 麻利子委員、柴田 知幸委員、戸田 こず恵委員、富田 清治委員、近藤 裕己委員
	事務局	市長、副市長、教育長、企画部長、行革・政策監、関係部次長、健幸=SDGs課長、健幸=SDGs課長補佐、健幸=SDGs課職員
次 第	1 市民憲章唱和 2 市長あいさつ 3 議題 （1）第9次安城市総合計画 実施計画（令和6～8年度）（案）について 4 その他	

1 市民憲章唱和

2 市長あいさつ

皆さま、おはようございます。

本日はご多用の中、令和5年度第3回安城市総合計画審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本日の審議会では、令和6年度から8年度までの3か年の実施計画についてご審議いただきます。実施計画は、総合計画に掲げた目指す都市像の実現に向けた基本計画に基づき、今後3年間で取り組む具体的な事業を記載して毎年策定するものでございます。

今回は、令和6年度からスタートする第9次安城市総合計画に紐づく実施計画となっておりま。総合計画の策定経過としましては、今年6月の審議会以降、分科会を合わせますと延べ6回に渡りご審議をいただいております。現在はパブリックコメントによる意見募集を行っているところでございます。

総合計画は来年3月の市議会で承認をいただく予定であるため、ベースとなる総合計画が確定する前に、実施計画を策定することとなります。一方で、この実施計画が令和6年度当初予算の指針となっておりまことから、新しい総合計画に基づく施策を確実に実施していくために、この時期に実施計画を策定する必要があることをご理解いただければと存じます。

本日お示しします実施計画案の内容については、後ほど事務局から詳細な説明がありますが、第9次安城市総合計画で掲げた目指す都市像「ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 安城」の実現を見据え、「しくみ」「ちから」「ばしょ」の3つの重点戦略を柱とした内容としております。新たな総合計画に基づく、子どもを核としたまちづくりの最初の3年間の取組を示すものですので、委員の皆様からご意見をいただきながら、よりよい形で各事業を推進し、目指す都市像実現に向けて弾みをつけてまいりたいと考えております。

本日も委員の皆様の様々なご見識からご意見を賜りますようお願い申し上げまして、私からのあいさつとさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

### 3 議題

(1) 第9次安城市総合計画 実施計画（令和6～8年度）（案）について

#### 【寺田覚会長】

皆さんこんにちは。会長を務めさせていただきます寺田です。本日の議題は一つです。議題（1）第9次安城市総合計画実施計画（令和6～8年度）（案）について審議いたします。

円滑な議事運営ができますよう、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。それでは議題（1）第9次安城市総合計画実施計画（令和6～8年度）（案）について事務局より説明をお願いいたします。

（事務局説明）

#### 【寺田覚会長】

ありがとうございます。事務局からご説明がありましたが、ご質問やご意見がありましたらご発言をお願いします。

#### 【近藤裕己委員】

資料2の15ページについてお伺いしたいです。

今回、第9次安城市総合計画は「子ども」が一番大きなテーマであり、計画案の中にコミュニティ・スクールについての記載があったと思います。子どもに一番力を入れるのであれば、具体的な取組として大事なコミュニティ、できるだけ単位の小さい方が、現実が見えやすいという特徴があります。難しいかもしれませんが、特定の地域でもいいと思うので始める事業の予算を是非つけていただいて、見せる必要があるかと思います。ここは残念な感じがちょっとするので意見を申しました。

#### 【教育振興部長】

ご意見ありがとうございます。ごもっともなご意見でございます。

コミュニティ・スクールにつきましては、今年度、モデル校を2校選定いたします。来年度については、モデル校で準備会を立ち上げて、令和7年以降に実施をいたします。

ただ、実施計画の策定時点では少し情報が足りず、間に合わなかったので入っておりません。来年度予算の中には確実に入っておりますので、ご安心いただきたいと思います。

#### 【筒井広治委員】

資料2の22ページの道路新設管理及び鉄道立体交差事業について、私の近辺での噂かどうかわかりませんが、名鉄が総合運動公園のところに駅を造るといったようなことが聞こえてきています。駅は市が設置するものではないので、この事業では特に触れられずに、踏切をなくすという説明になるのでしょうか。

#### 【建設部長】

今回、実施計画に挙げた「道路新設改良及び鉄道立体交差事業」といたしましては、道路と名鉄との交差部分をどのような構造にするのかを検討する中で、鉄道を高架化するという事業でございます。

駅というお話は、この事業の中では具体的に作るものではありませんが、将来的に駅が作れないということがないように配慮しながらの検討は必要だと考えております。

【筒井広治委員】

35ページの生涯学習について、青少年の家の改修というのは、建物を完全に建て替えるという解釈でいいのか、それとも、例えば外壁や中を改修するという内容になるのでしょうか。

【生涯学習部長】

大規模改修というのは、全く取り壊して新たに建てるというのではなく、躯体を残した形で外壁や内装を見直していくものと認識しております。

【筒井広治委員】

ありがとうございます。もう一つ良いでしょうか。

スポーツの分野を分科会で審議していた時に、スポーツ施設の適正な整備や配置という話がありました。陸上競技場について、スタンドの老朽化や走り幅跳びのピットがトラックの中にあって危険なので、サッカーと陸上は別日にする使い方をしているという話もありましたが、そのあたりの検討はやらないのでしょうか。

【生涯学習部長】

その点につきましては、継続的に考えていかななくてはいけないと考えております。

【久恒美香委員】

資料2の13ページの不妊治療支援事業なんですけど、助成金が5万円から10万円に増えるのはとても良いと思います。ただ、43歳未満の妻というように記載がありますが、どういった基準で43歳と設定しているのかを教えてください。

【子育て健康部長】

43歳の基準ですが、不妊治療につきましては令和4年4月から保険適用になっています。国が決定しているのですが、それが43歳未満であり、それを超えると妊娠する確率が大きく下がるということで、国の基準に合わせております。

【都築豊彦委員】

資料1の6ページの重点戦略「しくみ」のプロジェクト3で「みんながつながり支え合う地域づくり」の事業として、介護保険と国保と後期高齢者の項目が挙げられています。

確かに保険制度、医療制度は「しくみ」に該当するかなと思います。それと併せて事業費を見てみますと、20億とか18億とかこの制度を維持運営していく上では、これだけの予算が必要になるよということを市民に知らしめるということで、非常に重要なことだと感じました。

「みんながつながり支え合う地域づくり」というと、総合計画の中にある「誰もが生涯にわたって安心して生活できる地域共生地区、共生のまちづくり」というのがここに記載されるべきと感じております。地域共生社会というものは随分と前から言われていることですが、なかなかこれを実現するのは難しい。第9次総合計画では「子ども」という観点も重要になっていますので、子どもから高齢者まで皆が共生社会として歩んでいけるというものを示していただければと思いますがいかがでしょうか。

【福祉部長】

確かに委員のおっしゃる通りでございまして、今策定している地域福祉計画の中で地域共生社会の実現に向けて、重層的な支援体制を整備してまいります。当然、地域包括も含めて、横の繋がり等も強化し

ながら進めてまいります。

**【都築豊彦委員】**

実施計画の中で予算計上できる事業としては、特に記載するものはないということでしょうか。

**【福祉部長】**

現時点ではございません。

**【都築豊彦委員】**

資料2の12ページの不妊治療の関係で、43歳未満という年齢制限があるということでお話いただきました。出生者の増加ということで結婚新生活支援事業があるのですが、上限額のところに39歳以下ということが書かれています。現在では40歳を超えた出産という事例もあるようですし、そういうことであれば、不妊治療の43歳に合わせてもいいのかなと思いました。

**【行革・政策監】**

結婚新生活支援事業については、上限が39歳ということですが、この事業は国が実施している地域少子化対策重点推進交付金という制度の基に構築されており、制度上、39歳という年齢の上限が決まっております。

市としては、まず国の制度に則った形で、この事業を進めてまいりたいと考えています。

**【近藤裕己委員】**

資料1の20ページを見ると、市民協働推進基金というものがありますが、気になるのは、毎年予算が400万円だと基金が枯渇してしまうのではないかなということ、加えて、そもそも町内会に加入していない人がすごく多いかなと感じています。町内会に入っていない方々は正直市政に全く関心がないから町内会にも入らないのかなと思っています。

頑張って色々なことをやっているのは本当に一部の人で、何もしていない人をどうやって結び付けていくかが重要だと思います。市民協働を考えた時に「どうつながっていくか」という仕組みをつくっていくところに関してもう少し努力する必要があると思います。

また、実施計画書にはSDGsのゴールが各事業に記載されていますが、このように市政に関心のない人たちに関心をもってもらう、引き付けるための工夫をしていくと良いと思います。

**【市民生活部長】**

市民活動補助事業の基金については、単年度ごとの400万円を計上しておりますが、この基金がなくなるまでの事業だと考えております。

また、町内会の加入率でございますが、安城市は今年度70.4%でございます。比較的まだ加入していただける世帯が多いという状況でございます。ただ、年々加入者は減少しておりますので、地域の中で、まちづくりに対して、皆さんが協力し合える対策等を引き続き考えていく必要があると考えております。

**【寺田覚会長】**

町内会を代表してちょっと意見を申します。今、町内会では今話があった加入率の問題、どうやって加入してもらうかということについて、後継者問題とあわせて一番の問題として両輪で取り組んでおります。これからも何とか頑張っていきたいなと思っています。

### 【行革・政策監】

実施計画の記載についてご意見をいただきました。色々な機会を捉えて総合計画、実施計画について市民に伝わるように今後も検討してまいります。市民の目に留まるような記載の仕方も工夫をしながら検討させていただきたいと思えます。

### 【寺田覚会長】

他にご意見ございませんか。

それでは、佐野委員に総括意見ををお願いします。

### 【佐野真紀委員】

今日も活発なご意見、議論を聞かせていただいて、本当にこの会議にはいつも感心しています。皆様が本当に自分のこととして総合計画のことを考えて、色々な視点で見てくださっているなど感じます。今日は共生社会の実現、市民協働の話が出ましたが、この部分はとても大切だと思って伺っていました。

自分の地域、自分のまち、私たちの、、、というように思っ地域福祉をやってもらうにはどうしたらいいのだろうと友人と以前話した時、例えば、お祭りがあるところは「我々意識」が高いと言われている、地域を誇れる、「私たちのまちはこれがある」ということがあると、自分ごとの意識が高まるよね、と話をしていました。

安城にはお城があって、お城がある地域とお城が無い地域では地域に対する意識が違うように感じています。もちろん、古いものに我々という意識を求めることもあるでしょうし、新しくシーホース三河が来るということで、そこを起点に何か新しいまちと文化を作っていくということもあると思えます。その中で、市民の皆さんが「私たちのこと」と思えるような仕掛けを福祉に限らず色々行って、意識を醸成していくことが一つ方法としてあると思えます。

地域共生社会というと、どうしても福祉を注目してしまいがちです。もちろん、福祉も重要ですが、その基盤づくりに向けて様々な仕掛けを行っていく必要があるように思えます。

### 【寺田覚会長】

ありがとうございます。続いて、安田委員からも総括意見ををお願いします。

### 【安田孝美委員】

総合計画はパブリックコメントの最中ということで、やはり市民の皆さん、あるいはステークホルダーである皆さんに素晴らしい総合計画を知っていただくような工夫を是非していただきたいなとも私も思えます。それから、地元愛という言葉がありますが、そういったものもこの計画を支えていくためには必要だと思えます。

その上で意見を申し上げます。3年間の実施計画ですので、できるところから始めていただければと思っております。

1つ目にローリング方式という言葉は、市民にはなかなかわからないと思えます。用語解説などで注意してフォローしていただければと思えます。

次に3章で、3つの重点戦略におけるプロジェクトの具体的事業が文字だけで表現されています。重点戦略は、総合計画の中でも別格のもので、より直感的にプロジェクトを理解できるよう、ポンチ絵のようなものがあるとわかりやすいと思えます。可能であれば、それぞれのプロジェクトが各重点戦略を実現するために不可欠であるということが直感的に示せるような、そういった仕掛けがこの表現の中にあると良いと思えました。

次に、事業の説明のところに「新規」「継続」という表現がありますが、新規事業と継続事業で色を変えたり、表示の種類を変えたりして、新規事業を目立たせていただくと良いと思います。

次に、こういった計画では順番に記載されることは仕方がないですが、例えば、この3年間の実施計画の全体像を俯瞰できるような一覧表のようなものがあると良いと思います。この実施計画のどのプロジェクトをどの担当課が扱うかというところがわかるような担当課ごとのまとめ方があると各担当課がどのような事業を実施計画で進めていくのかということがわかりやすいと思います。同じように、予算規模もステークホルダーにとっては関心の高いことだと思いますので、安城市が今回の総合計画で立てた3つの重点戦略を実施する上で、どのように進めていくのかを俯瞰できるような表現があると良いと思いました。

また、安城市といえば農業というところがあると思います。今回の実施計画の中には、農業を推進していくための重要な事業が継続事業として記載されておりますが、ここに新規事業がないことは、私としては、ちょっと残念に思っています。是非安城だからこそ新たな挑戦を支援するよう事業を今後ご検討いただくと良いと思います。

最後に、もう既にチャットGPTを始めとする生成AIのような人工知能が進んでいます。今後、より一層技術的に進むという中で、観光政策立案など、今後データに基づくシティプロモーションも総合計画を進めていく中で取り入れていくと良いと思います。

また、質問を2つさせていただきます。

三河安城交流拠点創出プロジェクトについて、資料1の29ページと33ページにございますが、これは新たな文化広域交流施設として、非常に可能性が高いと認識しております。この部分の事業計画について、もう少し市民が魅力的と思えるような内容が記載されないのかなというのが率直な思いですが、何か市民が楽しみだね、と言えるようなことを入れることはできないでしょうか。

#### 【行革・政策監】

ご意見ありがとうございます。安城の玄関口にふさわしいまちづくりと新たな賑わい創出を図るところが今回の私どものプロジェクトの肝だと思っております。資料に記載している2つの事業を推進することで三河安城にふさわしい、そういった色合いの出せる施設としていきたいと思っております。

ただ、実際の活動自体も事業としては、既に一部行っているものもあります。例えば市民参加型の施設をどうやって使っていくか等を検討するワークショップ、シーホース三河の選手が小学生とバスケを試したりするイベント、技術を教えるようなイベント、そういった既に始めている事業もございまして、本市のウェブサイトやX、インスタグラム等でPRさせていただいております。

#### 【安田孝美委員】

色々なウェブやSNSを使った情報発信が盛んですので、是非それを活用していただいて、市民がわくわくするようなプロジェクトに仕上げただけであればと思います。

アリーナにつきましては、ご存知のとおり全国でも色々な新しいアリーナが立ち上がっております。愛知県もご存知の通り、愛知国際アリーナというのが作られています。

新しいアリーナをプラットフォームとした取組というのが色々なところで行われているので、是非そんなところもアンテナを張っていただき、是非良いものはコピーし、さらに良いものにするというようなことをしていただければと思います。

シーホースのプロジェクトがより魅力的になることを期待したいと思います。よろしく願いいたし

ます。

最後になりますが、青少年の家の改修事業のお話がありました。これも現状はハードの話で終わっていますが、やはり生涯学習を考えた時にソフト面で、これをどうしていこうと検討していくことはとても重要だと思います。今回は建物改修ですが、これを進めていく中でソフト面での計画も進めていただきたいと思っておりますが、このあたりはいかがでしょうか。

**【生涯学習部長】**

青少年の家につきましては、今後も若者たちが足を運びたいくなるような、そんな施設を目指しまして、1つはハード面ということもあるのですが、先生がおっしゃるようなソフト面につきましても、設計の中で市民ニーズを把握しながら進めて参りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

**【寺田覚会長】**

それでは、これで質疑を終了させていただきます。

委員の皆様から様々な意見が出ましたので、事務局にはしっかり検討していただきたいと思います。令和6年度から8年度までの実施計画につきましては、原案どおりでご異議はございませんか。

(異議なし)

**【寺田覚会長】**

それでは、議題(1)第9次安城市総合計画実施計画(令和6～8年度)(案)については終了いたします。本日の議題は以上でございます。

事務局に進行をお返しします。

**【司会】**

委員の皆様におかれましては、慎重にご審議いただき、誠にありがとうございました。

以上をもちまして、令和5年度第3回安城市総合計画審議会を終了いたします。本日は、誠にありがとうございました。